

99億1224万円

『ライフタウン』を目指す新町長体制のスタート



特別会計77億4904万円 水道事業会計7億8746万円

総額184億4874万円の走り出し

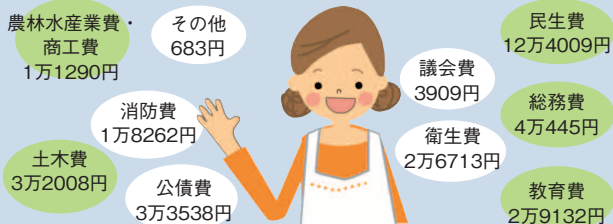
3月定例会

3月議会定例会は、3月2日から18日までの17日の会期で開催した。予算関連議案は、予算決算常任委員会が3日間の審査を行ない、最終日の本会議で賛成多数により可決した。

今定例会では、理事者提出の報告1件、条例、予算などの議案28件、最終日に追加議案3件、人事案件2件について同意、他の議案についても慎重な審議の結果、いずれも原案どおり可決した。（追加議案は、P.11を参照）

町民一人あたりの支出額 **31万9989円**

平成28年2月末人口 3万976人



●平成28年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金) 在高	108億1272万円	見込額
	34万907円	町民一人あたり
基金(貯金) 在高	18億4257万円	見込額
	5万9484円	町民一人あたり

支出

人件費、物件費、扶助費の増加や国体関係経費などと、大型事業のほか、特別会計への繰出金も財政を圧迫することになり財源不足の要因となっている。

このため平成28年度は、前年度にも増して既存の経常的経費などを更に創意工夫により節減に努める。選択と集中によって限られた財源を真に必要な事業に重点配分し、効率的に事業展開していく事を重要視した歳出予算である。

収入

自主財源の主たる町税は、前年比5.9%増の43億3千万円を見込み、地方消費税交付金は一定の伸びが予測される。

反面、普通交付税は、税などの増収に伴い減額が見込まれているため予算を許さない状況となっている。こうした財源不足に対応するため可能な限り地方債を充当するとともに財政調整基金から1億5千万円を繰り入れた歳入予算である。

